



脳とリハビリ研究所 第3回学術集会  
CBR 2015

【プログラム・ハイライト】

学会テーマ

TED のように～ideas worth spreading～

☆ 2015年9月12日（1日目）：

第1セッション：神経系リハビリテーションの治療ターゲット

第2セッション：ニューロリハ教育の構造と未来

夜の部（ウェスティンホテル淡路）

夕食会・ナイトセミナー・懇親会

【次世代型ニューロセラピーに向けて】

★ 2015年9月13日（2日目）：

第3セッション：リハビリテーションにおけるニューロテクノロジー

第4セッション：一般演題（ポスター）

特5セッション：リハ的コミュニケーション論

第6セッション：神経系リハビリテーションにおける臨床推論

主催：脳とリハビリ研究所 (<https://facebook.com/cbr.jp>)

会期：2015年9月12日～13日

会場：淡路夢舞台国際会議場／ウェスティンホテル淡路

運営事務局：株式会社ステラマインド

## CBR2015 学会長からのメッセージ

脳とリハビリ研究所ディレクター  
神戸学院大学 坂本 年將

皆さん、こんにちは。坂本 年將です。今年も CBR 学会を開催します。"CBR"というのは "Center for Brain and Rehab" (脳とリハビリ研究所)の頭文字をとったものです。約 3 年前、2012 年 9 月 22 日に Facebook 上に設立した研究所です。それまでかなりしばらくの間 (十数年以上) リハビリの世界から離れていた私なのですが、この研究所の最初の事業として配信を始めたメールマガジン【脳とリハビリ】が思いのほか好評で、そこをご縁にいろんな方々との出会いが始まり、今に至ります。

この学会は 2013 年 8 月に「CBR サマー2013」として始まりました。CBR の事業としては 2 番目のものとなります。リゾート地での新たなスタイルの学会を目指し、その会場を淡路夢舞台に設定しました。学会テーマは「レジェンドを始めよう」。日本神話の中で日本発祥の地とされる瀬戸内海諸島の一角から、脳とリハビリの新たな伝説が始まることを祈念しました。

昨年の学会「つながるカルチャー」を経て、今年は「TED のように～ideas worth spreading」を学会テーマに開催します。TED (Technology Entertainment Design) とは、「広める価値のあるアイデア (ideas worth spreading)」をスローガンに、カリフォルニア州ロングビーチなどで毎年世界的な講演会を主催しているアメリカの非営利団体です。その様子を動画に収めた「TEDtalks」は、今、ネット上で最も人気のある動画番組の一つです。カンファレンスが開催され始めた 1984 年当時は「極々身内のサロンの集まり」だったようですが、この部分だけ切り取ると、現在の CBR 学会に重なるものがありますね。

今回の学会ではこの「TED コンセプト」を拝借し、脳とリハビリに関する「広める価値あるアイデア」を集約すべくプログラムを作成しました。日本全国から 12 名の方々にスピーカーとしてお集り頂きます。一般演題発表 (ポスター) も募ります。夜の部ウェスティンホテル淡路での夕食会、ナイトセミナー、懇親会を加えると、少なくとも 16 時間にわたるロングランな学術会議となります。

プログラムは6つのセッションから構成しました。各セッションにおいて25分間のショートトークを積み重ね、神経系リハビリテーションのメカニズム、教育、テクノロジー、コミュニケーション、臨床推論について、広める価値あるアイデアを発信していきます。講演のスタイルは学術理論、実験研究、臨床経験論に基づくものを組み合わせ、通常の勉強会、研修会、学会などでは得難い多角的な視点と議論の場を提供します。参加者定員は50名限りですので、大規模学会によくある「満席御免」もありません。神経系のリハビリテーションに関心のある研究者、臨床家、学生なら誰でもが「当事者」として楽しめるはずの内容となっています。

また、この学会では講演ばかりではなく、参加者間での対話を重視しています。1日目のナイトセミナーでは、昼の第1・第2セッションの内容を踏まえ、「次世代型ニューロセラピーに向けて」と題し、座長ならびにパネリストを中心に参加者全員で神経系リハビリテーションの臨床、研究、教育の未来について語らいます。2日目第3・第6セッションでは、すべての講演終了後にスピーカーらによる座談会を設け、ニューロテクノロジーと臨床推論についての理解を深めます。ポスターセッションはフリーディスカッションです。形式にとらわれることなく、ざっくばらんに意見交換して下さい。

昨年 CBR2014 に向けてのメッセージにも記したことなのですが、この学会に参加頂きたい人たちはこんな人たちです。

- \* 脳とリハビリに関わる様々なテーマに広く関心が持てる人
- \* 脳とリハビリの個々のテーマを様々な視点から考えたいと思える人
- \* 定まっていない不確かなことに可能性を見出すことができる人
- \* 対話の中から生まれてくる新たな何かにワクワクすることができる人
- \* アイデアを繋げていくことに喜びを感じることができる人
- \* リゾート地での学びと遊びを楽しむことができる人

参加した人たち全員が、来た時よりも元気になって帰っていく。これまでと同じく今年もそんな学会にしたいと思っています。皆様のご参加、お待ちしております。

2015年6月吉日

## 講演者一覧

- ☆ 神戸学院大学総合リハビリテーション学部  
CBR2015 学会長（企画・監修）  
坂本 年将（PhD, PT）
- ☆ 美原記念病院神経難病リハビリテーション科  
菊地 豊（MS, PT）
- ☆ かつべ整形外科医院リハビリテーション科  
小川 昌（PT）
- ☆ かねこ整形外科リハビリテーション科  
畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター  
中野 英樹（PhD, PT）
- ☆ ボバース記念病院リハビリテーション部  
阪本 誠（MS, PT）
- ☆ 松山リハビリテーション病院リハビリテーション科  
山崎 倫（PT）
- ☆ Physio Study Kyoto  
永井 豊美（PT）
- ☆ 平成医療短期大学リハビリテーション学科作業療法専攻  
河村 章史（MS, OT）
- ☆ 摂南総合病院認知神経リハビリテーションセンター  
菅沼 惇一（MS, PT）
- ☆ 富永病院リハビリテーション科  
奥村 正平（ST）
- ☆ 徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科  
桃井 克将（MS, CSW, PSW）
- ☆ 大阪大学大学院医科学修士課程公衆衛生学コース  
加葉田 大志朗（PT）

## プログラム

9月12日(土)

13:00 開場・受付 (淡路夢舞台国際会議場 Room 301)

13:20～13:25 オープニングトーク (英語)

Ideas worth spreading at CBR2015

神戸学院大学 坂本 年将

**第1セッション：神経系リハビリテーションの治療ターゲット**

座長：松山リハビリテーション病院 山崎 倫

このセッションでは脳・認知系の成り立ちを基に、脳卒中後片麻痺ならびに神経変性疾患に対するリハビリテーション治療のターゲットについて討論します。セラピストによる治療介入が何を狙ったものなのか。患者の神経または認知機構にどのように作用することを期待するものなのか。臨床における治療仮説の組み立てとセラピーの実際を中心に議論を進めます。

13:25～13:50 講演 1-1

脳・認知系のオーガニゼーション

神戸学院大学 坂本 年将

13:50～14:15 講演 1-2

脳卒中後の運動障害に対する感覚表象形成機構をターゲットにした理学療法

松山リハビリテーション病院 山崎 倫

14:15～14:40 講演 1-3

脳卒中後片麻痺患者の歩行への治療介入

～セラピストによる感覚入力ターゲット～

ボバース記念病院 阪本 誠

14:40～15:05 講演 1-4

神経症候の二重原理から神経変性疾患の治療標的を考える  
美原記念病院 菊地 豊

15:05～15:20 休憩

第2セッション：ニューロリハ教育の構造と未来～わたしの卒前・卒後教育～

座長：ボバース記念病院 阪本 誠

リハビリ専門職者に対する神経系リハビリテーションの教育の現状と今後について討論します。個々の講演者の教育体験をもとに、我が国の神経系リハビリテーション教育が依拠する知の体系、そしてその根底にある価値観を探り出し、現状における問題点と今後の方向性について議論します。

15:20～15:45 講演 2-1

姿勢と運動制御の理解に基づいたニューロリハビリテーション教育  
ボバース記念病院 阪本 誠

15:45～16:10 講演 2-2

ひとをみる教育～認知神経リハビリテーションの構造と未来  
かつべ整形外科医院 小川 昌

16:10～16:35 講演 2-3

神経難病リハビリテーション教育の perspective  
美原記念病院 菊地 豊

16:35～17:00 講演 2-4

ニューロサイエンティストの卒前・卒後教育  
神戸学院大学 坂本 年将

夜の部（ウェスティンホテル淡路）

\*宿泊を申込めない方は別途参加費が必要です

17:30～19:00 夕食会（ホテル 2F レストラン）

20:00～21:00 ナイトセミナー（ホテル 1F 会議場）

【次世代型ニューロセラピーに向けて】

座長：神戸学院大学 坂本 年将

昼の部第1・第2セッションの内容を踏まえ、次世代における神経系リハビリテーションの在り方と、それを実現するための研究・教育の推進を含めた戦略の可能性（幾つかのアイデア）について討論します。本セミナーは学会2日目の内容にも繋がるものであり、本学会において中核的な役割を担うセミナーとして位置づけています。

パネリスト：松山リハビリテーション病院 山崎 倫

パネリスト：美原記念病院 菊地 豊

パネリスト：ボバース記念病院 阪本 誠

パネリスト：かつべ整形外科医院 小川 昌

\*公開討論会です

21:00～23:00 懇親会（ホテル 1F パーティールーム）

9月21日(日)

第3セッション：リハビリテーションにおけるニューロテクノロジー  
～想いをカタチに～

座長：かねこ整形外科／畿央大学 中野 英樹

ヒトを対象とした脳機能研究は近年盛んに行われており、リハビリテーション医療への応用も積極的に試みられている。臨床での使用を考えた場合、その適応と限界、ならびに補足的に使用可能な代替手段の存在を理解しておくことは適切な治療介入を行う上で必須である。このセッションでは、fMRI、EEG、fNIRSなどの脳機能計測の臨床応用とその限界、ならびにそれらを補う手段としての身体運動計測法について討論します。

09:30～09:55 講演 3-1

脳機能計測の臨床応用とその限界

かねこ整形外科／畿央大学 中野 英樹

09:55～10:20 講演 3-2

fMRI 研究の実際～適応と限界～

平成医療短期大学 河村 章史

10:20～10:45 講演 3-3

脳を測る～EEG・fNIRS研究の現状

かねこ整形外科／畿央大学 中野 英樹

10:45～11:10 講演 3-4

脳機能計測法を補う手段としての身体運動計測法

摂南総合病院認知神経リハビリテーションセンター 菅沼 惇一



11:10～11:40 セッション座談会

座長：かねこ整形外科／畿央大学 中野 英樹

パネリスト：平成医療短期大学 河村 章史

パネリスト：摂南総合病院認知神経リハビリテーションセンター 菅沼 惇一

パネリスト：神戸学院大学 坂本 年将

11:40～12:30 昼食

#### 第4セッション：一般演題（ポスター）

座長：徳島文理大学 桃井 克将

12:30～13:00 フリーディスカッション

ポスターセッションはご自由に討論下さい。発表者はご自身のポスターの前で質疑に対応いたします。

#### 第5セッション：リハ的コミュニケーション論

座長：神戸学院大学 坂本 年将

「コミュニケーション」をキーワードに、ソーシャルワーカー、言語聴覚士、公衆衛生学を専攻する大学院生（理学療法士、MPH candidate）の視点からそれぞれお話いただきます。学際色が際立つ‘特別セッション’として仕立ててみました。

13:00～13:25 講演 5-1

対象者を理解する傾聴技法～ソーシャルワーク理論を基に～  
徳島文理大学 桃井 克将

13:25～13:50 講演 5-2

失語症患者の発話内容からみる脳機能局在  
富永病院 奥村 正平

13:50～14:15 講演 5-3

異分野とのコミュニケーション

～コメディカルの教育、勝手にくらべてみました～

大阪大学大学院 加葉田 大志朗

14:15～14:25 休憩

## 第6セッション：神経系リハビリテーションにおける臨床推論

座長：Physio Study Kyoto 永井 豊美

臨床推論は医療者が医療を適切に行う上で最も重要なスキルの一つであり、また、「推論」はそれ自体、脳科学や認知科学における興味深い研究対象の一つである。この最後のセッションでは、専門的バックグラウンドの異なる4名の講演者が、それぞれ考える臨床推論について講義し、それを基に推論の基本・本質、そして疾病・障害に応じた適用について議論します。

14:25～14:50 講演 6-1

運動器リハビリテーションにおける臨床推論

Physio Study Kyoto 永井 豊美

14:50～15:15 講演 6-2

認知神経リハビリテーションにおける臨床推論

かつべ整形外科医院 小川 昌

15:15～15:40 講演 6-3

小脳性変性疾患の神経系リハビリテーションにおける臨床推論

美原記念病院 菊地 豊

15:40～16:05 講演 6-4

神経行動科学に基づく臨床推論～セラピスト学の構築に向けて～

神戸学院大学 坂本 年将

16:05～16:35 セッション座談会

座長：Physio Study Kyoto 永井 豊美

パネリスト：かつべ整形外科医院 小川 昌

パネリスト：美原記念病院 菊地 豊

パネリスト：神戸学院大学 坂本 年将

16:35～16:40 閉会の辞

かつべ整形外科医院 小川 昌